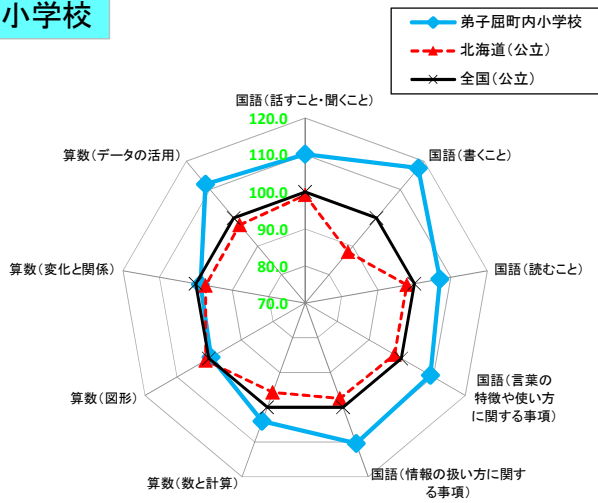


■ 弟子屈町内の状況及び学力向上策 (小学校数:4校、児童数:35人) (中学校数:2校、生徒数:55人)

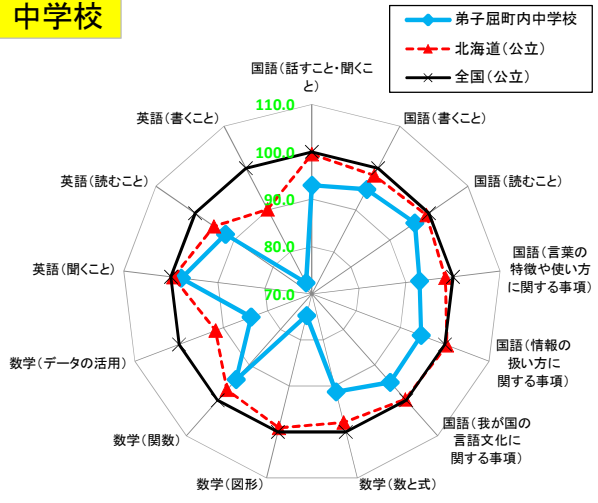
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

小学校

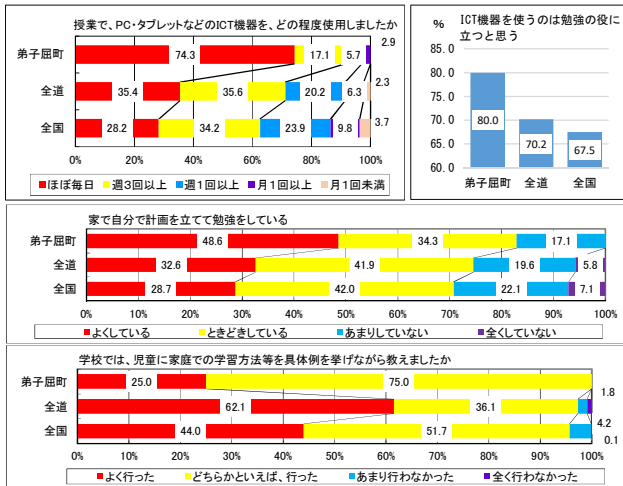


中学校

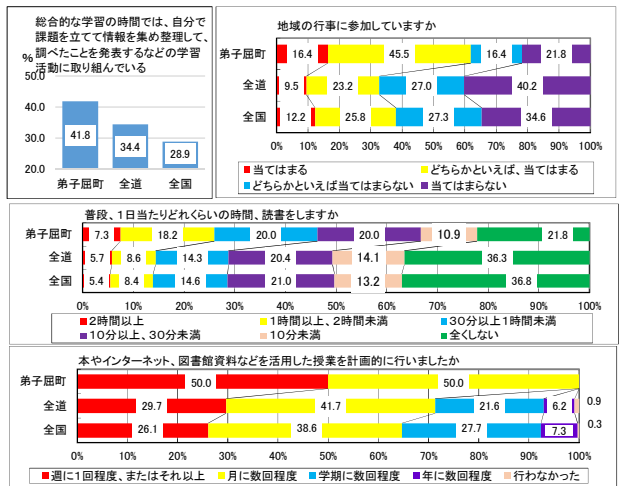


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

教育委員会から全家庭に「町の教育テーマ」を配付したり、各小学校で家庭学習の手引を作成し、授業と連動した家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えたりしたことにより、自分で計画を立てて勉強をしていると回答した児童の割合が全国を上回るとともに、国語や算数で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に係る校内研修を推進し、ICTを日常的に活用した授業改善を図ったことにより、ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うと回答した児童の割合が全道及び全国を上回ったと考えられる。

中学校

本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行ったり、学校の図書コーナーを地域や保護者と一緒に整備したりしたことにより、生徒の読書習慣が改善され、国語の正答率が全国の平均正答率に近付いたと考えられる。

総合的な学習の時間において、地域を学びのフィールドとし、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだことにより、地域に対する愛着や誇りが育まれ、地域の行事に参加していると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【弟子屈町の学力向上策】

- ◎ 各種調査結果を活かした学習指導の工夫改善等、町や各学校の学力向上プランの着実な推進による学力向上サイクルの確立
- ◎ 学校、家庭における、各種調査結果及びメディア利用に係る課題の共有による生活習慣の改善及び学習習慣の確立
- ◎ ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に係る校内研修の推進による教職員の資質能力の向上
- ◎ 町の子ども読書活動推進計画に基づく、関係機関・団体と連携した読書の習慣化に向けた取組の推進